

# 廃校から宿へ

東日本大震災で廃校になった  
142年の歴史ある野蒜のびる小学校



防災体験施設として再生した  
野蒜小学校からKIBOTCHAきぼっちやへ



黄色の壁が津波のきた高さで  
受付の壁は被災当初のまま残している

## 様々な体験ができる KIBOTCHA

### コンセプト

KIBOTCHAの由来

希望、防災、未来

子供たちに命の大切さを伝えたい

KIBOTCHAは被災した小学校を「防災体験型宿泊」として活用するプロジェクトが評価され、  
土地活用モデル大賞、国土交通大臣賞を受賞しています。

### 施設紹介

震災資料館、防災をテーマにした遊び場、大浴場、シアタールーム、レストラン、トレーニングルーム、学習ルーム、授乳室などがあります。

KIBOTCHAでは防災キャンプやEnglishキャンプ、アート展などのイベントが多く開催され、直接体験して学べる貴重な経験ができます。



受付の壁は被災当時の壁を部分的に残しています

### 防災キャンプ

防災教育（実技）、防災マップの作製、BBQ&キャンプファイヤー、地震発生から津波避難指示の伝達・避難体験、漁業体験、農業体験、火起こし・浄水体験による食事、保命法や身近なものを使った単品の作り方、など様々な体験を楽しみながら学べるスケジュールが組まれています。



受付では電動自転車を借り、奥松島エリアを観光できます